

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2020年度 パフォーマンス向上会議情報(2020年4月24日(金)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2020年4月24日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	【中低濃度汚染水タンクの使用前検査書類における測定器番号の誤記について】 中低濃度汚染水タンクの地盤支持力に関する使用前検査を受検した際に、使用前検査書類に測定器番号の誤記を発見。 原因は、使用前検査書類の審査において、チェックが不十分で誤りに気付かなかったため。 早急に訂正書類を提出する。 今後、再発防止対策を検討。	G II	4月22日
2	【落下したクランプの接触に伴う当社社員の負傷について】 2号機原子炉建屋1階で、協力企業作業員が天井側に高所作業用の親綱を取り付けようとしたところ、誤って親綱固定用のクランプを落下させ、近傍で他工事の監理をしていた当社社員のヘルメットに接触。 帰宅後に当社社員が頭に痛みを感じたことから、翌日、一般病院を受診したところ頸椎捻挫と診断。 今後、再発防止対策を検討。	G II	4月21日
3	【雑固体廃棄物焼却設備の軽油タンク液位計点検時における焼却設備(A)の自動停止について】 雑固体廃棄物焼却設備の軽油タンクに軽油を補給していた際、軽油タンク液位計の指示値が変化しなかったため、軽油タンク液位計を修理していたところ、雑固体廃棄物焼却設備を自動停止させる保護装置が動作。 軽油タンク液位計の修理完了後、当該設備を再起動し、異常のないことを確認。 今後、原因の深掘りを行い、再発防止対策を検討。	G III	4月22日
4	【5号機タービン建屋東側の屋外屋根雨樋配管の亀裂について】 5号機タービン建屋東側の屋外屋根雨樋配管に亀裂があり、降雨時に雨水の漏えいを確認。 原因は、配管の腐食と推定。 今後、類似箇所を含め雨樋配管の交換予定。 なお、亀裂からの漏えい水による運転設備への影響はない。	G III	4月20日